

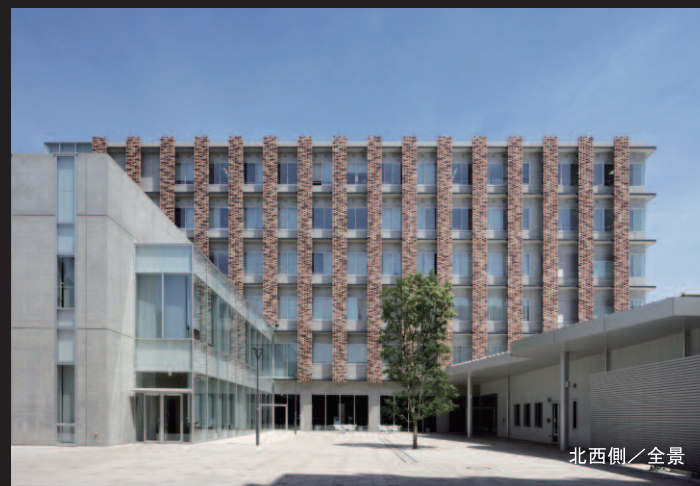


南東側正面中景 (見上げ)

立正大学熊谷キャンパス 新校舎

テラコッタブロックによるレンガスクリーンで外壁ファサードを表現しました。

厚みの異なる数種類のテラコッタブロックでユニットを組み、乾式施工しています。建物は、正方形のフォルムが特徴的な二棟で構成され、レンガスクリーンにより美しい壁面が演出されています。カーテンウォールとコンクリートとの対比も配慮して、テラコッタブロックは、色味、色幅を変え、自然な配置で設計されています。外壁全面をテラコッタブロックで覆わず、縦方向に等間隔に配置し、軽快感を維持したオリジナル性の高い外壁ファサードを表現しています。



北西側/全景

DATA

設計: 石本建築事務所
 施工: 大成建設
 所在地: 埼玉県熊谷市万吉1700
 竣工: 2009年3月

商品情報

アカデミック棟)
 REG-11/W325×H90×D105、W375×H90×D135 (74:26)
 W100×H90×D105(mm)
 スポーツキューブ棟)
 REG-11/W375×H90×D105、W425×H90×D135 (74:26)
 W100×H90×D105(mm)

外観



南東側/全景



南西側/全景



南西側/見上げ

外観



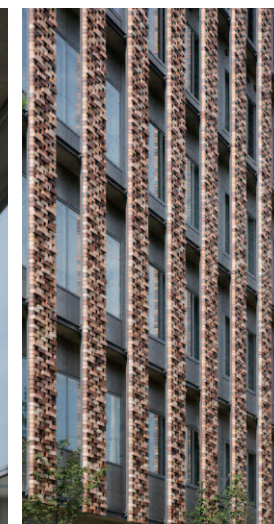
西側/中景



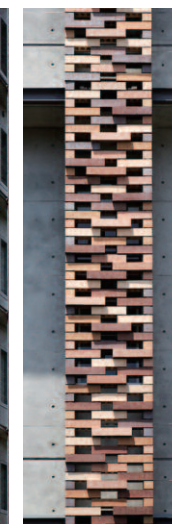
南西側/近景



南東側/低層部



北側/近景



テラコッタブロック
ディテール

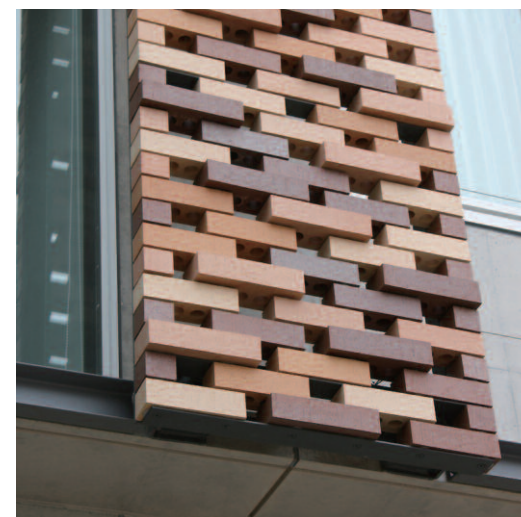
ディテール



テラコッタブロックディテールアップ



テラコッタブロックディテール(見上げ)



テラコッタブロックディテールアップ